

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスNoah小久保

公表日 2026年 2月 20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・できるかぎり広いスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・日々の利用児数に合わせた職員配置を考えています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			・視覚的な支援の拡大(構造化)や工夫。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・フリースペースと運動スペースを分けています。	・フリースペースと学習スペースの確保や視覚的支援の工夫。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・学習や製作など集中できるスペースを準備しています。	・周囲の声や音が聞こえる。
6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・振り返りを行っている。		
7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・改善に向けた意見交換を続けています。 ・いただいたご意見をスタッフで共有しています。	・改善に向けた全体周知の徹底を続けていく。	

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・意見交換を続けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%	・第三者による外部評価をしていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・送迎後のスタッフからのQ&Aコーナーや研修への参加からスタッフの質向上へ繋がっています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・支援プログラムの作成、公表をしています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・子どもを中心に保護者からのご意見をいただきながら計画の作成を進めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・作成前に必ずスタッフ全体で会議を実施しています。 ・誰の為の支援かを念頭において会議を行います。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・作成後は必ず共有をしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・日々の様子を決められた様式で記録を行っています。	

## 適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・それぞれのねらいに合わせた内容を作成しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・スタッフ全体でプログラムを考え実施しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・プログラム、内容の振り返りや改善を繰り返し工夫をしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・必要に応じた個別に近い活動と集団活動を組み合わせています。 ・年齢に合わせた集団活動の中での役割作りを行います。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・支援内容の確認を行っています。 ・長期休みやイベント日には内容を周知するようにしています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	・業務時間内のできるかぎり行い、難しい場合には次の日の送迎前に共有しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・毎日の記録を残しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的な支援会議・モニタリングを行っています。	

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%		・4つの基本活動を組み合わせ日々関わっています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・自ら選択し予定をたてていけるようスケジュールシートの作成を実施しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・日々見守り関わるスタッフが参加しています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・様々な機関との連携できる体制を整えています。	・更に幅広い連携を考えていきたいです。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%		・可能な限り学校とのやりとりをさせていただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	67%	33%	・必要に応じた情報交換の機会を設けています。	・更なる連携を求めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%	・まだ事例がありません。 ・準備はできています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		・必要な研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		・他デイとの交流を含め地域交流を進めています。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%	・毎月参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・連絡帳や送迎時などでお伝えするようにしております。 ・必要に応じた面談も行っております。	・一層ご利用児童の様子を共有できるよう工夫を考えていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		ご家族参加型のイベントの実施をしています。	・実施曜日や時間帯の調整を行っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・ご契約時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・面談の中でご意見をいただけるよう努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・その都度、必要に応じたサポートをさせていただきます。	・相談しやすいよう窓口を一層広くできるよう考えていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%		・実施しています。 (餅つきや季節ごとのお祭りなど)	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情解決の窓口や迅速な対応ができるよう整えています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		定期的なおたより、カレンダーの配布、SNSの活用を進めています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・厳重に保管をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・伝わるよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		・地域の行事に参加するようにしています。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		スタッフへの周知と訓練を実施しています。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・必要な訓練の実施をすすめています。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・事前確認を行っています。 ・スタッフへの周知と対応方法についても共通理解ができています。	
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・アレルギー児の例はないが対応できるよう周知しています。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・必要な研修の受講と訓練を実施し安全管理をしています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・ご契約時に安全についてご説明させていただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットの作成と見直しを行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・虐待についてのミーティングや研修の受講をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・必要に応じた対応があることをお伝えし、その場合には事前に了解を得るよう進めています。	